

カラオケ同好会の小旅行

何時もの事ながら豊中・池田と箕面の混成軍が昨年に引き続きカラオケ同好会の催しを総勢16名の参加にて友好を暖める事が出来た。当日は最初心配していた空も次第に晴れて来て、上天気とはいえない迄ものびのびと時間を過ごす事が出来た。杉田様の計らいにての会員制旅館「有馬六彩」は山の手に存在する、とてもシックな存在感のあるホテルにて何か気取って振る舞わねばならぬ気になった。

夕食は宴会場にて美食を頂く事になる。カラオケ先生・中田様の提案にて「昨年一番良かった事」を1人ずつ述べる事になり楽しい夕食が続く。夫々が様々な良かった話を終えた後はお決まりのカラオケルームへ押しかけた。定員10名の部屋へ16名押しかけたものだから補助椅子をもらって、そしてエアコンをドライにしたり……の茶番劇になった。その後は予め用意して頂いた吉田・井上(健)様の部屋に全員集合し



て、写真撮影の後は生れ育ちを順次発表して、褒めたりひやかしたりしながら夜も知らぬ間に更けていく。明けて帰途は二手に分かれて、大部分は路線バスにて宝塚へ出た。昨日とは全くランクを下げて我々庶民の阪急うどんにて昼食をすませた後は、疲れた身体に鞭打って月例のレッスンに向かう事になった。

最後になりましたが私共老夫婦をズーと支えて頂いた皆様方にお礼を申し上げますと共に更に友情を深めた次第である。
(松本義男)

高齢者疑似体験教室の開催

平成26年7月、池田社会福祉協議会より高齢者疑似体験教室の実施依頼がありました。依頼先は池田市内の介護保険事業者(株)アットホーム(池田市満寿町)でした。年に数回、一般社会人を対象に介護福祉士の資格を得る為に土、日に講習会を開催、この教科の中の高齢者疑似体験のお手伝いをお願いしたいとの事でした。

今回(27年2月1日)で3回目の実施となりました。(前回は26年7月27日、10月12日)受講生の皆さんは20歳台から60歳台の男女の皆さんで真剣に受講されていました。今後高齢者と接する機会が多くなるので高齢者の日常生活の体験を得たいとのことでした。特に高齢者になると、目、耳、指先の感覚、手足等の衰えによる不自由さ日常生活の困難さを体験して頂いた。耳には耳栓をしての会話の聞き取りの不自由さ、目は特殊なメガネを掛けて老眼、白内障による色彩感覚と暗くぼやけて見える体験、チョッキには重りを入れて前かがみ姿勢での歩行の困難、手先は手袋を着用して、ものが掴みにくくボタンの大きさによる掛けにくさ、小銭の出し入れの難しさ、握力が弱まり、腕と足には曲がりの困難なサポーター、足首には重りをつけつま先が上がりやすく、つまずきやすいようにしての階段の昇り降り、等を体験していただきました。体験後の発表では日頃何でもないことでも老人の日常生活が大変である貴重な体験を経験したので、今後老人との接触の多い機会が増えるので大いに参考になり、活動に活かしていきたいとの感想を述べられました。

会員の皆さんで体験希望があればぜひご参加ください。高齢者疑似体験教室に参加し、色々ご協力頂いた3人の方に感謝致します。
(木村良三)